



Photo by Hiroshi Takasugi

上：草の中のノースポール

下：移植しておいたノースポール

“ゆっくり着実に”

玄海ゆりの樹幼稚園
園長 高杉 洋史

明けましておめでと〜いございます。

12月20日から風邪をひき、皆さんにうつしてはいけないので、引つ込んでいました。日ごろ元気なので、たまに風邪をひくと優しくしてもらえてうれしかったのですが、できるだけ早く回復しないと園長のデスク周りだけ年末の大掃除から忘れ去られた状態になります。焦っても咳は止まらず、健康のありがたさを実感しました。本当に大切なことは身近にあり、失ってみないとそのありがたさがわからないものです。それ以来、運動と食事と睡眠に気をつけています。

12月初旬、ケヤキの苗に水やりをしていると草の中にノースポールの芽を見つけました。最初は一本だけ目につきましたが、よく見るとあちこちに小さな芽が出ています。探してみると20本くらいになりました。このままほっておくと草に負けそうなので、うまくいくかどうかはさておき花壇に移植してみました。最初の2、3日は水をやりましたが、その後はほったらかしで、時々様子を見ていました。今年の正月は天気にも恵まれ、散歩の途中そのノースポールに目をやると思いのほか大きく成長していました。いくつかの苗には白い花までついていました。自然からお年玉をもらった気持ちです。

さてこの二つのエピソードをまとめると、いちばん大切なことは、大切なのに忘れていたり、気づかなかつたり、失くして初めて気づくこと。そして小さな行動の積み重ねが幸せにつながる。毎年元旦には今年の目標を決めるのですが、とかく三日坊主になります。大きな目標も大切ですが、小さな目標、小さな行動、小さな気付きの積み重ねが大きな幸せにつながるでしょう。子育ても、自分育てもゆっくり着実にいたしましょう。

